

日本整形外科学会 教育研修取得単位一覧

・オンデマンド受講対象セッションは変更になる可能性があります。最新情報は本学術集会ホームページ「単位取得/不正受講の禁止について」をご覧ください。

月日	時間	会場名	セッション名	演題名	演者	日整会認定番号 23-1086	分野番号 その他	現地 受講	オンデ マンド 受講
10月26日(木)	10:30-11:30	第1会場	第9回教育研修セミナーベーシックコース	股関節障害：治療に役立つ骨代謝、骨質の理解 股関節外疾患の診断と治療	斎藤 充 藤井 昌	001	11	○	○
	11:40-12:40	第1会場	第9回教育研修セミナーベーシックコース	股関節周術期感染予防 股関節周術期静脈血栓塞栓症の対処法	岩切健太郎 高平 尚伸	002	11	○	○
	12:50-13:50	第1会場	第9回教育研修セミナーベーシックコース	骨系統疾患、麻痺性疾患の股関節障害 DDHの乳児検診、早期治療	鬼頭 浩史 村上 玲子	003	3.11	○	○
	14:00-15:00	第1会場	第9回教育研修セミナーベーシックコース	セメント人工股関節全置換術の匠 セメントレス人工股関節全置換術の匠	飯田 哲 大谷 卓也	004	11	○	○
10月27日(金)	8:30-9:30	第3会場	教育研修講演1	初心者が知っておくべき股関節鏡視下手術の基本手技や基本知識 股関節鏡視下手術の適応と基本手技	金治 有彦 星野 裕信	005	11.S	○	○
	8:30-9:30	第10会場	教育研修講演2	大腿骨頸部骨折の整復、固定 絶対に失敗しない大腿骨転子部骨折の整復固定のコツ	正田 悦朗 徳永 真己	006	2.4	○	○
	9:40-10:40	第10会場	教育研修講演3	CPPアプローチを用いた人工股関節全置換術 最小侵襲を目指したビキニ皮切 組織間温存前方進入 (AMIS) THAのコツ	馬渡 太郎 西脇 徹	007	11	○	○
	13:40-14:40	第10会場	教育研修講演4	学童期の股関節疾患：一般股関節外科医のための診療手引き 思春期の股関節周辺痛診療のツボ-単純X線で診断できないものがこんなにある	大谷 卓也 三谷 茂	018	3.11	○	○
	14:50-15:50	第10会場	教育研修講演5	股関節障害と脊椎骨盤矢状面アライメント THA術前後の骨盤アライメント変化	立岩 俊之 崔 賢民	019	11	○	○
	16:00-17:00	第10会場	教育研修講演6	変形性股関節症の疫学指標：地域住民コホート10年間の追跡 わが国における変形性股関節症の病因と疫学	飯高 世子 佐藤 太志	020	11	○	○
	11:30-12:30	第1会場	ランチョンセミナー1	Accurate acetabular component alignment with surgical guidance systems in hip arthroplasty	William L. Walter	011	11	○	×
	11:30-12:30	第2会場	ランチョンセミナー2	国産Collared Full HAシステムの魅力～治療戦略とその実際～	金 光成	012	11	○	×
	11:30-12:30	第3会場	ランチョンセミナー3	Multidisciplinary careで臨む大腿骨近位部骨折の治療～周術期管理から手術治療、二次骨折予防まで～	脇 貴洋	013	2.4	○	×
	11:30-12:30	第4会場	ランチョンセミナー4	変形性股関節症の病態・治療 UPDATE	神野 哲也	014	11	○	×
	11:30-12:30	第5会場	ランチョンセミナー5	ビキニ皮切によるDirect Anterior アプローチにAnterior Pathを用いることの有用性 ALS アプローチTHAにおける Path systemの特徴を利用した使用方法と有用性	森田 充浩 赤石 孝一	008	11	○	×
	11:30-12:30	第6会場	ランチョンセミナー6	骨と軟部組織に配慮した股関節手術～骨粗鬆症治療も含めて～	馬渡 太郎	015	4.11	○	×
	11:30-12:30	第7会場	ランチョンセミナー7	仰臥位THAにおける術中透視ノズメ～高難度症例からスポーツ愛好家への対処～	久留 隆史	016	11	○	×
	11:30-12:30	第8会場	ランチョンセミナー8	イメージフリーハンドヘルドナビゲーション Naviswissを用いた側臥位人工股関節置換術-Flip techniqueの有用性と上方アプローチ- THAのさらなる患者満足度向上を目指して一周術期管理のtips-	内藤 陽平 黒坂 健二	009	11	○	×
	11:30-12:30	第9会場	ランチョンセミナー9	難治症例に対するModulus stemの有用性について -高位脱臼を中心に- もう怖くない！大腿骨近位部骨切り術後のTHA：患者満足度を上げるコツ	星野 啓介 福島 健介	010	11	○	×
11:30-12:30	第10会場	ランチョンセミナー10	変形性股関節症診療ガイドラインに基づく保存的治療の有用性	内尾 祐司	017	11.R	○	×	

月日	時間	会場名	セッション名	演題名	演者	日整会 認定番号 23-1086	分野番号 その他	現地 受講	オンデ マンド 受講
10 月 28 日 (土)	8:30-9:30	第3会場	教育研修 講演7	私の周術期疼痛対策 術中対策を中心に 「痛くなかった」と言わせたいー 教えます！ 関節周囲多剤カクテル療法の ちよとしたコツ	平澤 直之 洲鎌 亮	021	11	○	○
	9:40-10:40	第3会場	教育研修 講演8	THA入院期間の短縮の成果と限界 早期退院に向けた取り組み -大学病院の立場 から-	平川 和男 仲宗根 哲	022	11	○	○
	13:00-14:00	第3会場	教育研修 講演9	コンピュータ技術を活用した人工股関節全置換術 コンピュータ技術を活用した寛骨臼回転骨切り術	高尾 正樹 稲葉 裕	033	11	○	○
	14:10-15:10	第3会場	教育研修 講演10	ナビに頼らない THA のコツ：術中、頼りになる Landmark について ナビに頼らないTHA -私の工夫？	丸山 正昭 高窪 祐弥	035	11	○	×
	15:20-16:20	第3会場	教育研修 講演11	小児股関節領域におけるエコーの有用性について 成人股関節診療にエコーを活用しよう	村上 玲子 山崎 琢磨	036	11	○	○
	13:00-14:00	第10会場	教育研修 講演12	PJIの予防と診断 update PJIの治療戦略update	小林 直実 莫 賢一	034	6,11	○	○
	11:50-12:50	第3会場	ランチョン セミナー11	骨粗鬆症の病態の理解と治療戦略 ～大腿骨近位部骨折予防を含めて～	宮本 健史	028	2,4	○	×
	11:50-12:50	第4会場	ランチョン セミナー12	AR Hip 2.0 ～ARテクノロジーの進化とAIの 可能性～	小川 博之	029	11	○	×
	11:50-12:50	第5会場	ランチョン セミナー13	Fit & Fill システム：スタンダードからショートへ Contemporary Fit-and-Fill stem - Full HA stemの新たな潮流	中田 活也 神野 哲也	023	11	○	×
	11:50-12:50	第6会場	ランチョン セミナー14	筋腱温存THAにおける軟部組織保護：美しく安全 な手術への挑戦 病院所有の骨折牽引台を使用したTHAにおける 軟部組織マネージメント	三浦 陽子 馬場 智規	024	11	○	×
	11:50-12:50	第7会場	ランチョン セミナー15	デジタル時代の股関節手術 A Multicenter Prospective Assessment of the Utility of Robotic Assisted Total Hip Arthroplasty with Virtual Range of Motion on Intraoperative Implant Positioning	稲葉 裕 Seth A. Jerabek	025	11	○	×
	11:50-12:50	第8会場	ランチョン セミナー16	テリパラチドおよび骨形成促進薬の基礎薬理学 アップデート	飯村 忠浩	030	1,4	○	×
	11:50-12:50	第9会場	ランチョン セミナー17	受け継がれるJudetの系譜 最小侵襲人工股関節 置換術への道 AMIS Bikini: take your Anterior Approach to the next level	西脇 徹 Andrew Chia	026	11	○	×
	11:50-12:50	第10会場	ランチョン セミナー18	関節破壊進行抑制を目指したRA治療戦略 ～フィルゴチニブが果たす役割～	森田 充浩	031	6,R	○	×
	11:50-12:50	第11会場	ランチョン セミナー19	抗菌表面技術 (AG-PROTEX [®]) でTaper-wedge 型システムはNext stageへ～合併症のないTHA をめざして～	藤井 英紀	032	11	○	×
	11:50-12:50	第12会場	ランチョン セミナー20	いまだらって思いませんか？ ひと味違う令和 のZweymüller型システム !! こんなこともできます！ 令和のZweymüller 型システム	岩切健太郎 洲鎌 亮	027	11	○	×

<日整会専門医資格継続必須分野番号>

(N)：日整会専門医単位 (S)：スポーツ医単位 (R)：リウマチ医単位
(SS)：脊椎脊髄病医単位 (Re)：運動器リハビリテーション医単位

<日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)>

[1] 整形外科基礎科学 / [2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む) / [3] 小児整形外科疾患 (先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く) / [4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む) / [5] 骨・軟部腫瘍 / [6] リウマチ性疾患・感染症 / [7] 脊椎・脊髄疾患 / [8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む) / [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患 / [10] 手関節・手疾患 (外傷を含む) / [11] 骨盤・股関節疾患 / [12] 膝・足関節・足疾患 / [13] リハビリテーション (理学療法・義肢装具を含む) / [14-1] 医療安全 / [14-2] 感染対策 / [14-3] 医療倫理 / [14-4] 保険医療講習会、臨床研究/臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済 (保険医療を含む) に関する講習会、地域医療/医療福祉制度に関する講習会、専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会 (医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む) など / [14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1～14-4に当てはまらないもの

※14-1～4は機構認定専門医共通講習、14-1,2,3は機構認定専門医必修講習 (5年間で14分野を各1回以上受講しなければならない)